

みなさん おはようございます。夏休み楽しく元気に過ごせましたか。今日から2学期が始まります。みんなの元気な笑顔に会えるのを、幼稚園も先生方も楽しみに待っていました。早く幼稚園が始まって、みんなに会いたいなあというお友達もたくさんいると思います。

2学期は楽しい行事がたくさんあります。運動会・氏神祭・安佐動物園バス遠足・防火パレード紅葉谷遠足・生活発表会・クリスマス会・もちつきなど、楽しいことがたくさんあります。でも、そのために練習をしなければならないこともあります。あきらめないで頑張っていきましょうね。

これは何だったでしょう。そう「努力の壺」ですね。すみれ組やひまわり組の人は去年お話ししたからわかると思います。今から「努力の壺」の紙芝居が始まります。

『朝日 作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文 25 選』（1998年 明治図書）の中の作文

（真由）お母さん。またあのお話して。

（母）あらあら、真由、どうしたの？

（真由）あのね、さかあがり、何度も何度も練習しているの、こんなにがんばっているのにできないの。

（真由）せえの えい ダメだ

（真由）もう一回 えい もうちょっと ダメだ。

（真由）手だってこんなになったんだよ。

（母）おやおや、ずいぶん頑張ったんだね。でも上手くいかなかったんだね。じゃあ、今から「どりよくのつぼ」のお話をしてあげるね。

（ルーター）そう言いながら、おかあさんは、真由ちゃんの前にすわり、お話をしてくれました。

（母）あのね、人が新しいことにチャレンジするときには、神様からつぼをもらうんだよ。そのつぼはね。いろんな大きさがあって、割と簡単なことは「小さいつぼ」、とても難しいことは「大きなつぼ」をもらうんだよ。

（母）その人がつぼの中にいっしょうけんめい「努力」を入れていくと、すこしずつたまっていて、いつか「努力」があふれるとき、そのとき、チャレンジが成功するんだよ。

（母）ほら、この前すみれ組の大地くん、いっしょうけんめい金の竹馬を練習していたでしょ。

（大地）よし頑張るぞ、あっだめだ。

（大地）もう一回、1. 2 あっだめだ。

（大地）よし、あきらめないぞ。1. 2. 1. 2. やったあできた。

（母）何度も何度も練習して、できるようになったじゃない。あのとき、努力のつぼから努力があふれたんだね。

（真由）そういえばお母さん、去年すみれ組のひろみちゃんも、はじめは戸板のぼりができな

ったけど、何度も練習してやっとできるようになったって、話してたよ。

(母) そうよ、ひろみちゃんはすごく頑張ったんだよ。ひまわり組の翔平くんや真美子ちゃんだってそうじゃない。竹ぽっくり何回練習した？転んでも、すぐに起きて頑張ったでしょ。それからあきらめないで何度も練習して、やっと転ばずにできるようになったじゃない。休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできるときが来るんだよ。

(母) それから、ちゅうりっぷ組の貴浩くんや裕美子ちゃんだって、すごく頑張ったよね。一本橋を、はじめはこわくて、手をつながないと歩けなかったのに、練習して一人ですいすい渡れるようになったよね。

(母) 真由の努力のつぼも今にあふれるところまでできているかもしれないわよ。もしかしたら、まだまだかもしれないけど、あきらめちゃだめなの。あきらめたら、せっかくの努力があふれることはないんだよ。もう少しがんばってごらん。

(真由) うん。お母さん、ありがとう。真由、もっとがんばる！もう一回行ってくる！！

(ルーター) そう言って、真由ちゃんは、また、さかあがりの練習を始めました。

(ルーター) もう少ししたら、真由ちゃんの努力のつぼから努力があふれてくるかもしれませんね。

(ルーター) あれから真由ちゃんは、毎日毎日逆上がりの練習を頑張りました。そしたらついに、できたんです。

ここにあるものが「努力」です。そしてこの壺が努力を入れる「努力の壺」です。みんな「努力」ってわかるかな？「努力する」ってどういうことかな？わかる人はいますか。

本当は「努力」は見えないのですが、わかりやすいように、色を付けました。この壺は神様が人間一人一人くれた壺なんです。

さて、どんなときにこの壺をもらうかというと、みんなが何か頑張ろうと思ったとき、今までできなかったことをやろうと思った時に、神様からもらいます。すみれ組さんだったら金の竹馬や逆上がり、ひまわり組さんだったら竹ぽっくりや前回り、ちゅうりっぷ組さんだったら三輪車や平均台を頑張ろうと思ったとき、この壺をもらうんです。人によって大きさがちがいます。

はじめはできなくても練習して少しずつ努力を重ねていけば、その努力がたまって、いつかあふれるときがきます。(努力の壺の中に少しずつ水を注ぐ)ここでやめたらせっかく頑張ったのに、できるようになりません。もうすぐのところまでできています。(あふれさず。)そのときが成功するときなのです。だから決して、途中でやめてはいけません。コツコツと来る日も来る日もつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

さあ、2学期は行事がたくさんあります。このつぼに努力を少しずつためて、運動会や生活発表会を成功させましょうね。魔法の合言葉は「やれば できる！」です。